京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

日韓の經濟的干繫

日清、日露の二大戰を敢てし、多大の國帑と幾多の生靈とを犧牲にして漸く我勢力下に措くを得たる韓國が、政治地理の上に於て我が國と同一色たらしむ可しとの議論は余輩の多く顧みざる所にして又漸く焦慮す可き問題にもあらずと信ず然れども日韓の經濟的干繫に於ては速に其境界を撤去す可しとは余輩の大に主張せんと欲する所也勿論韓國を保護國と爲せる理由は經濟上の關係與りて大なりと雖、政治上に於ける今日の日韓干繫は經濟上よりも一歩進みたる者にして政治的變化の原因たりしものが本末却て顚倒せるにあらざるかを怪しむ、少くとも第三者より之を觀察せば余輩の言の無理ならざるを知らん、蓋し外交權は素より我手にて運用せられつゝあるとは、統監府並に在り內治の行政司法警察等も亦我邦人の手に韓國政府の職員統計に依りて明白なり、試みに左表を見よ

統監府及所屬官職員數 (四十年十二月末日)

高等官	判任官	判任待遇及雇員等	合計
一五七人	二、三〇六人	二、六一三人	三、九七六人

韓國政府職員數 (四十一年十月末日)

官署	親任 韓	親任 日	勅任 韓	勅任 日	奏任 韓	奏任 日	判任 韓	判任 日
	人	人	人	人	人	人	人	人
宮內府	三	…	六五	一	九三	一〇	三〇二	一五
內閣	一七	…	四	…	一〇	六	三二	七
中樞院	七	…	九	…	一四	…	四	…
度支部	…	…	八	九	三三一	七五	六三三	二四三
內部	…	…	四	四	六四	九三	七四〇	七三三
法部	…	…	三	一四	五三	一七	三四	一五〇
學部	…	…	二	一	二〇	八	二八	九五
農商工部	…	…	…	五	一三	四二	九四	一八
總計	一七	[illegible]	二〇五	三四	五九七	三二三	一四七三	一三九〇

即ち邦人を以て組織せる統監府の職員三千九百七十六人に加ふるに韓國政府に職員たる邦人一千七百九十七人を以てすれば總數實に五千七百七十三人となる之を韓人職員の二千八百六十六人に比すれば正に二倍せり素より員數の多寡を以て政務運用の實權の所在を判定するは早計に失せんも韓國政府の官吏たる我が邦人は地位の高きよりも寧ろ多く實務實權を握るの局に在る者なるを以て實際は員數以上の能力を發揮するものと見て差支なからん果して然らば韓國の政務は邦人の手に依りて左右せらるゝものなりと言ふも誰か之を疑ふ者あらんや然り而して日韓の經濟的干繫を概觀するに韓國の現人口約千萬人の內邦人の數は十五萬人に過ぎず素より韓國を政治的に支配するには敢て邦人數の少きを憂ひざる可しと雖も苟も之を經濟的に經營し一は以て韓國の富源を開發し一は以て我が邦の過剩人口を移さんと欲せば素より斯る少數の邦人を以て能くし得べからざるや論なし、以て貿易上の關係を見るに十年以來韓國の外國貿易の八割乃至七割は我が邦との間に行はれたるを知る、然れども近時英獨等の輸出貿易は頗る急速の進歩を爲しつゝあるに反し我國との貿易額は我邦の總貿易の進歩に伴はざるの跡あるを發見す加ふるに同國が既に我が邦の保護國と爲りたるにも拘らず關稅の障壁は依然存在せるが故に我が國の輸出品の多くは入步稅を課せられ韓國より輸入する主要貨物たる穀物類は從價五分の輸出稅(韓國にて)と每百斤四十五錢乃至六十四錢の輸入稅(本邦にて)を徵せらるゝが故に政治上殆ど同一体を爲せる日韓兩國の經濟的干繫を阻礙すること少しとせざるなり、其他韓國に於ける商事會社の十中の八九は邦人の經營に係り數に於ても資本額に於ても他外國人の所有に屬するものは極めて少しと雖、韓國の現時經濟的基礎が工業にあらずして農業に在るを思はゞ、邦人の韓國產業に及ぼす勢力は未だ微々たるを免れざる可し (未完東京經濟雜誌)

俳句

初夏十句　千春

初夏や世捨て世捨し山に入る
初夏や水に親しむ人こゝろ
大嶽麗寫して初夏となりし鳬
初夏や山むらさきに水背し
店川しり工夫も夏の始めかな
初夏や耳なつかしき瀧の音
初夏や襷をかゆる船の者
初夏や白魚老ひて雨三たび
初夏や薔薇の香高き畫の雨
初夏や酒にまさりし水の味

佐倉宗吾 (六十二)

眞龍齋貞水講演

この御大老酒井雅樂頭忠清公と仰しやるのは、伊達騷動などでは惡人のやうに申し立てます人々がありますが、何う致して忠清公は御明君でございます、私共伊達騷動を申し上げないと、云ふのは事實相違の廉がありますからでございます、伊達騷動を本統に申し上げやうと云ふには大變な關係を存して居りまして、なかなか伊達一家の騷動のみに止りませぬ、之に對する酒井忠清公の思召なども公けには分らなかつたが重大な關係を有せられて吾々講談師が申し上げる伊達騷動のやうにたわいがないものでございませぬ、中には何か雅樂頭が伊達兵部へ對して力を入れられるやうに申し上げますが、其樣な事で御大老が勤まるもので無い、苟も四代將軍を補佐し奉り國家の大權を握つて居らるゝ御大老でございますから、左樣な惡人ではない、御父酒井雅樂頭忠世公は、東照宮の御眼力を有ましてたるを知る、既に二代將軍に成らせらるゝと云ふ御幼君竹千代君の補佐役續いて御子息忠清公が御家督御相續以來御評判が好い、また御評判が好く、御怜悧で在らせらるゝから、天下の大老が勤まつたので至つて御仁君の方でございます、御住居は大手前でございまして之を下馬將軍と申し上げた、いま更めて申す迄もないが、征夷大將軍が德川家左將軍が尾張樣右將軍が紀州樣、鎭西將軍が島津樣鎭北將軍が加賀樣鎭守府將軍が伊達家、下馬將軍が酒井家でございます、之を天下の八將軍と稱し奉りました、其酒井雅樂頭忠清公の御登城あそばされる時に、御駕籠訴に、及ばんと、六人の庄屋は孰れも死を決し、茲に難皆を認め、銀の伊勢半兵衛の宅を暗い內に出ました、而して從い懇曉頭はひに、丸の內大手前に參りまして、彼方此方の容子を伺ひ、成るだけ人の眼に止らぬやうにして、頻りに御登城になる所を御待受けを致して居りますと、今御門が開く中から▲「エー、ホー、エー、ホー」と云ふ聲が掛つた飛ぶ鳥れとす御大老の御登城でございますから、遙か大手の下座には之を見ると●「控へよー、控へよウー」と云ふ聲が掛る、其い最大手の下座見が、ねよーの聲を掛けてゐる時に左右から三人づゝ「庄」「御願でございます、御採上を願ひます」と顏の色を變へ、た百姓體の者が、御駕籠眼蒐けて飛込んで來る「無禮者奴ッ、御大老に對して御駕籠訴とは、不屆至極、奴輩なり控へろーッ」と云ふと「御願ひでございます、御採上の程を偏に願ひたい、恐多きを顧みず御願ひ申しましたは、絶體絶命、御採上を願ひたう存じます」一生懸命に聲を張揚げました、此時に之を承りました酒井の御家來方は「コレ如何樣に其方共が願ふと雖も不法の願ひは御採上に相成らぬ願を以て願ひ奉つれ、恐れ多き事には、あらざるか、御大老樣であるぞ」と聲を懸け突飛ばしますと、又起き上つて○「エー、私共は御大老樣と御見受け奉り、御願ひに及び候は、絶體絶命、御採上を願ひたう存じます再三申しました時に雅樂頭が「駕籠訴に及び候者、何の願ひなるか、採上げて得させよ」家「ハ、ハアーッ、コレ唯今御採上げに相成るぞ願書を是へ出せ○「ハ、ハッ」とて願書を御駕籠の內へ差上げました時に、御駕籠の中で御拔き遊ばし、御覽になると、容易ならざる條目でございます、そこで願書は御採上に成つたのでございますから、六人の庄屋は忽ちの間に御大老樣の御供方の中に鎭み込まれ、腰繩を打たれて御屋敷へ引立てられました、此方は御大老御登城に相成り、將軍家へ對して御目通りを致し、御機嫌を伺ひ夫より御老中方の御評議の席に御出になつて、當日の御用を御聽き遊ばし、而して後に將軍家へ御暇申し上げ、御下城になりました。

京城新報

駐剳軍隊の風紀革正

花は櫻に人は武士、我忠勇なる軍隊は日本帝國の花なり、實なり、我國光の發揚は此忠勇なる軍隊に負ふ所多きは今更に言ふ迄もなし、我軍隊が世界各國より稱賛せらるゝ所以のものは啻に戰に强勇なるのみならず、規律の嚴正にして風紀の最も振肅せる所にあり、是を以て余輩は常に我軍隊に向て風紀の嚴正ならんことを囑望するもの也曾て韓國駐剳軍の風紀に就て世上彼是論議せられたる事ありしが、當時余輩も之れに就て風紀の振肅すべきを論じたりき、元來當時の駐剳軍なるものは、日露戰役の爲め滿州に出征したる軍隊を以て充てたるものなれば、其風紀の多少弛廢せるも亦恕すべき所あり、加之暴徒討伐の爲め地方に駐在せる軍隊は夏の熱天燥地に露營し、冬は身を斬る如き寒風に氷河を渉り、宿舍に歸りて休まんとすれば忽ち暴徒に攻められ、何等其勞を慰する娛樂なし、風紀の多少弛廢するも亦止むを得ざりしならむ、暴徒の出沒事なきを以て軍隊教育なるものは到底爲す能はず、斯の如くなれば有形の經費を損するのみならず、無形の損害甚だしきものあり、然れども韓國を保護する上は勢ひ止むを得ざる事なるを以て、余輩は唯可及的其風紀の振肅を望みたりき、然るに爾來駐剳軍隊は交迭せられ漸次風紀も振肅せられたりと雖も、幾分從來の餘波を受け居りたる所ありてか、大久保軍司令官の來任と共に着々風紀の矯正に力を注がれ、今や將さに面目を一新し、規律嚴正毫も犯さしる帝國軍隊の眞骨頭を發揮せんとするに至れり、蓋し駐剳軍の風紀弛廢は唯に軍隊の活氣に影響するのみならず、保護政治の施設にも大なる關係を爲す、統監旗の威嚴を保ち、保護政治が何等の妨害をも受けず行はるゝは則ち軍隊あるが爲なり、此重大なる責任を有する軍隊にして其風紀を紊し、韓人等の心中に輕蔑の念を起さしむるは取りも直さず日本帝國の威嚴を損ずる者なり、素より祖國の兵營に在るとは自ら其教育及風紀の取締に意の如くならざる事多からん、然れども帝國の花として世界より高き譽れを得たる我軍隊は些々たる障害の爲に其品位を墮す可らず、我軍隊の精神を發揮する爲には亦大に忍ぶ所なかる可らず、實際保護政治の完成、在留邦人の發展に於て背後に駐剳軍隊なくんば到底不可能なり、之を換言すれば駐剳軍隊は韓國經營の原動力なり、然り此原動力たる軍紀は今や振肅せられ一層の威容を加ふるを聞き、余輩は衷心より之を歡賓するもの也

東京電報

▲損害賠償法律

日露戰役個人損害賠償の法律公布せらる內容は地方と同じく法律に依り損害査定委員長は石井外務次官委員は外務大藏二省の書記官名ごゝ任命さるべし

▲砲水兵の衝突

竹敷要港附近にて去る十八日重砲兵と水兵との間に爭闘起り双方共拔劍し非常ラッパを吹き負傷者多數あり(以上廿二日發)

▲東拓配當率

東洋拓殖會社の配當は三分に決定す

▲觀光團の賜餐

觀光團一行の重なる者に對し賢き邊りより五月一日芝離宮に於て午餐を賜はる東伏見宮殿下接伴せらる

▲技師歐米派遣

統監府鐵道管理局技師石川石代氏は歐米に差遣せらる(以上二十三日發)

外報一束

●日本實業家歡迎

米國大北鐵道會社々長ゼームス、ヒル氏其の他の實業家は日本實業家の大觀光隊を招待して米國全部を見物せしめ米人に觸接し得べき各種の便宜を與へ懇切友愛の歡迎饗應を爲すの準備を整へんとして大統領タフト氏、國務卿ノックス氏と協議せり

●露紙の極東特派員

「ノオエウレミヤ」の極東漁業通信員たるグラマレンコ氏は同社特派員として不日日本に渡航し我が官憲に對し極東漁業問題に關し意見を交換する筈其の重なる事項は(一)日本政府が日本沿海州水產組合の設立を認可せる事が露國と親交を害する事なきや(二)日本政府は南部薩哈連なる漁業者の損害を賠償せざるは日露の親交に戾ることとなきや等也

●獨清間の交情

獨逸支那俱樂部(獨華交通社と命名せり)は獨清官紳の齎藩骨董品展覽會を開く事に決せり獨逸は斯る手段にて支那側入會者を多數にし且清獨親密の狀態を列國に示さんとするもの〻如し

●土帝讓位せん

土耳其皇帝は軍隊の首府君士坦丁堡進入と共に讓位すべく豫想せらる

●墺都民の忠誠

維也納市民は墺太利皇帝に對し熱誠なる服從を表示せり

●露英米の商議

露國政府は露、英、米三國が協約締結のために評議中なりとの風說を否定し此協議は單に北氷洋および太平洋にれける漁業に關する者なりと言明せり

雜報

●東拓名義書換

東洋拓殖株式會社にては本月二十七日よりたる第一回定時株主總會を終了する日迄株式の名義書換を停止する由

●副統監元山着

曾禰副統監を乘せたる光濟號は二十三日午前十一時頃松島灣(永興灣)に到着したる旨其筋に來電ありたり

●寄附金募集不認可

內部にては地方費法の發布と同時に如何なる公共事業の費途に使用すべきものと雖も寄附金の募集を認可せざる筈にて斯くの如き種類のものは地方費法に基く地方財產より支出せしむる方針なりと

●前軍部大臣の渡日

前軍部大臣正二位勳二等尹雄烈は花房宮內次官其他在京日本知己の勸めにより七十才の高齡を以て一昨朝午前九時南大門發にて東上日本遊覽の途に就きたり

●木內次官の東上

木內農商工部次官は往復三週間の豫定にて昨朝八時五十分發列車にて東上したり

●驛屯土引繼交涉

東拓會社の引繼ぐべき驛屯土に就ては同社の林理事一昨二十二日度支部に到りて交涉を開始したるに付近日の內實地の引繼を爲すに至るべしといふ

●民籍法の趣旨說明

民籍視察の爲め曩きに平安南北及黃海の三道に出張したる趙民籍課長は二十二日龍岩浦に於て附近の面長十三、洞長六十二を集めて民籍の趣旨を說明したりと

●軍部乘馬令の改正

四月十九日付軍部令第三號を以て陸軍將校乘馬令施行規則中に改正を加へられたり

●漁業者への注意

如何なる名義を問はず漁業法施行前に受けたる漁業の免許又は從來の慣行に依りて漁業を爲す者は該法施行の日より一ケ年內に出願すべき筈なるが當業者は期限の到着を待たず此際速かに願ひ出でたる方便利なるべしといふ

●四月中旬の貿易

關稅局調査に係かる四月中旬の外國貿易は左の如し

區別	本旬 本年分	前年分同期
輸出品價	三八四、七〇四	四四〇、一六八
輸入品價	九四二、七五五	九四四、〇七三
合計	一、三二六、四六〇	一、三八四、二四〇
輸入超過	…	…

●三理事官の交迭

平壤、大邱、元山の理事官は交迭せらるべく一兩日中に其發表を見るべし其他の理事官は移動なしと

●郡守會議協議事項

忠淸南道にては地勢上果た行政上道內を三區に區分し其の第二區に於ける第一回最寄郡守會議は過般稷山郡に於て開會されたるが同會にては郡廳處理に關する件、法令周知に關する件、統計調査に關する件、教育擴張に關する件、學田學林施設に關する件及び農事改良に對する小作權取締りに關する件々協議する處あり尙寄附金品の件、雇員增給の件に就き協議したりと

●開港十週年祝賀會

群山民團及び有志者は開港滿十週年の祝賀會を來る五月一日午前十一時より群山公園に於て擧行する由なるが定めて盛會なることなるべし

●平壤支會第一總會

平壤支會に於ては來る五月一日[illegible]場にて其の第一回總會を開

●本邦朝鮮米の昂騰

一旦引弛みを報じたる本國相場も兵坂筋の注文に減切り引締りを告げ殊に內地は定期の高と高微米の拂底せるとにて朝鮮米の需用益々增加し本月初めより二万叺餘の出荷ありたるに拘はらず相場は次第に昂騰を告げ木浦群山改良の如き十圓八十錢以下にては出來難き形勢となり產地又更に一段高値を報ずるなど頗る好況を呈し居れりと

●大邱金融組合現況

大邱金融組合最近の營業狀況を聞くに營業開始當時より本月二十日迄の貸付金高は八千四百六十五圓にして此口數百八十九なり貸付金の內回收したるは六百六十五圓利子積算二百六十五圓七十二錢五厘なり以上の有樣にて貸出は豫期に反し少額なりと

●京仁線の改正哩程

永登浦より仁川に至る京仁線工事修繕の結果營業の哩程を左の如く改正されたり

	改正營業哩程 自永登浦	區間 哩	現在營業哩程 自永登浦	區間 哩
梧柳洞	三哩九分	三哩九分	四哩五分	四哩五分
素砂	七、六	三、七	八、一	三、六
富平	一〇、九	三、三	一一、六	三、五
杻峴	一七、三	六、四	一八、一	六、五
仁川	一八、四	一、一	一九、四	一、三

●中學校の入學試驗

京城中學校にては今二十四日午前九時より第二小學校に於て入學試驗を擧行する筈なれば受驗者は當日午前八時三十分迄に筆硯、行厨を携へ試驗場に到るべく尙其成績は二十八日頃發表すべしと云ふ

●上京中の司法官

目下司法官會議參列の爲め上京中なる倉富法部次官、渡邊大審院長、香坂法務院長等は十九日司法大臣以下を紅葉館に招き饗宴を張りたるが二十一日大森なる伊藤公邸にて茶話會に招かれ二十二日には司法大臣が日韓司法官を招き華族會館にて開ける宴會に出席したりと云ふ

●露領沿岸貿易禁示

露都新聞紙の報ずるところによれば露國經濟會議の諮問に屬する外國人の沿岸貿易問題を議するため露國商工省內に於て同省次官コノワルフ氏を議長として組織されたる特別會議は本年露曆十月一日以降外國旗を飜へす漁船が右領水內に於て沿岸貿易に從事することを禁ずべき旨を議決したる由尤も右決議と同時に千九百十三年十月一日に至るまで四年間は例外として一定の外國漁船に一定の航海に從事することを許可するの權及び朝鮮國境よりオリガ灣に至るまでの間帆船の沿岸貿易を許可するの權並に右漁船及び帆船に對し特別の租稅を課するの權を沿黑龍總督に附與したる由

●試驗漁具の許可

農商工部に於ては先日島根縣より出願したる試驗漁撈の許可を與へたる由なるが漁具は鰮場繰網、魚地曳網、鰆流網にして其の區域は鎭海灣、巨濟島、沿岸巨濟島の北東岸山灣迄にて軍港及要塞地帶に於ては當該官憲の指揮に從ひ漁船六隻運送船二隻を使用し漁獲物の處理及貯藏並に漁夫休養等の爲め根據地を要する時は其の土地の所有主又は官邊に申請すべき筈にて本年四月より明年二月迄の期限なりと云ふ

●副理事官と保護會

釜山理事廳副理事官高瀨經德氏は從來監獄事務を分擔せる所より監獄內部の風紀を改良し同時に出獄人保護會なるものを設立せんと計畫し居りしが本月よりは事務分擔變更し監獄とは何等の關係を有せざるに至りたれど折角思ひ立ちし計畫を中止するも遺憾なれば個人として月一回づゝそれ等の出獄人を自宅に招き講話會を開き一同を感化すべしと目論見居る由なり

●聯合運動會と行幸

韓國官私立學校にては本月下旬東大門內訓練院に於て春季聯合運動會を開催すべき由は既報の如くなるが愈々三十日同所に於て開會することに決定したりと尙當日は各大臣を始め日韓文武官の參列あるべく又天氣の都合に依りては皇帝にも臨御あるべしと

●ベッセルの病狀

ベッセル氏危篤なりとの報は前日記せしが氏の病氣は脚部に腫物を生じ發熱甚だしきため容體頗る重體にて目下毎日南大門外濟衆病院の米醫ホッニー氏の治療を受け居由

●平賀博士の歸東

韓國工業傳習所囑託平賀博士は別項木內次官と同列車にて歸東の途に就けり

●民團學校長會議

京城居留民團立諸學校の膨脹に伴ひ其管理及教務の統一を圖る爲め從來毎週木曜日民團役所に於て各校長會合種々打合せ居りしが二十三日も例會を開けり尙今回中學校の創設に付ては民團所屬教員の研究會をも組織する筈なりと

●韓國の地主と小作人

▲全南光州地方　地主對小作人は善風又は惡弊と特に稱すべき關係事項を認めざるもの〻如し要するに中流以上の土地所有者は殆ど自作を爲す者なく所有地を總て小作に附し自己の勤勞を省き相當の收利を爲さんと欲し小作人亦小作上地の供給少きにあらざるを以て之れが需用上饒餘たるの要なきに依り双方間殆んど特殊の關係を生ずる餘地なきもの〻如し

▲全羅南道靈巖地方　小作權解除の虞あるを以て小作人は力めて地主の機嫌を取り平素何用となく使役に應ずる等恰も主從の如き關係ありと云ふ

▲忠南鴻山地方　地主と小作人間の權利關係を規程したる法則なきが故に地主の小作人に對する關係は全く權力的なり既に其の小作契約の如き地主又は其の委任を受けたる舍長の意思に因り容易に解除せられ小作人は之を爭ふの道なく恰も奴隷的關係なり

▲忠南天安地方　小作人は小作關係に於て殆んど絕對に屈從の風習なるを以て地主と衝突するが如き事なし

▲咸南元山地方　小作契約以外に何等關係なく對等の地位にあるも時々主從の如き關係ある者ありて地主の要求に應じ報酬にも勞役する事あるも其數甚だ僅少なり(終)

●牟田中將以下敍勳

駐剳軍參謀長より下關要塞司令官に轉任したる陸軍中將牟田敬九郞氏以下に四月二十日付を以て左の如く敍勳ありたり

特賜太極章　陸軍中將勳一等　牟田敬九郞
陸軍中佐勳三等　大多和新輔
特敍勳三等賜八卦章　陸軍少佐勳四等　中島銳之助
特敍勳四等賜太極章　陸軍大尉　大森直一

●警察官の野外運動

皇宮警察係員日韓警視以下巡査百六十餘名は今二十四日明二十五日の兩日甲乙二隊に分れて南山及び慶熙宮に於て大野遊會を開き同時に假設搜索演習をなす由

●佐賀縣靑年同志會

明廿五日午後七時より標題の如き會を本町六丁目德全堂支店にて開會する由

●裁判所聯合運動會

在京城の各裁判所即大審院、控訴院、地方裁判所、區裁判所及び法部聯合の運動會を今二十四日西大門外西陵里に於て擧行する筈

●統監府給仕講話會

統監府給仕講話會は隔週土曜日の講話は文章の組立に就てなるが今土曜日午後一時半より開會すべき筈長谷部鑑太郞氏及電氣の活用河田市也氏日韓國關係歷史談田中米次郞氏等なりと

●一昨日の出入船舶

一昨日仁川に入港したる船舶は商船會社の汕頭丸一隻にて同日出帆したるものは郵船の命令航路船高砂丸、汕頭丸、神代の諸船なりき

●小松書記官の東上

統監府小松書記官は二十四日出發東上する由

●鶴岡局長の出張

農商工部商工局長鶴岡永太郞氏は二十六日出發平壤農產物品評會に列席の爲め出張の筈

●大塚書記官出張

農商工部未墾地整理の爲め大塚書記官は未墾地取調の爲め昨朝午前八時南大門發にて密陽地方に出張せり

●米國大佐の大沽行

一昨日仁川出帆北濟に向ひたる高砂丸にて米國大佐ジエムスハミルトンルイスは仁川より乘船大沽に向

●赤間嘉之吉氏歸社

東亞煙草會社京城支店長の同氏は韓南地方に出張中の處去る二十日歸社せり

本日の集會

▲微笑會　本日午後三時より大和町三丁目圓山太嶺師宅にて例會提唱あり參聽隨意

▲南山本願寺　土曜日に付き例の通り說教あり

公人私人

▲朝倉夕藏(鎭山技師)　廿二日入京天眞樓
▲寺尾規矩郞(關稅局書記官)同上佐藤旅館
▲前原末吉(咸興步兵第六十四聯隊第八中隊步兵大佐)　入京中の處二十二日釜山へ向ふ
▲齋藤濱五郞(辯護士)　同日平壤へ歸れり

近事片々

▲仁川　有志の築港演說は頗る揮へり築港は仁川の生命也勇奮以て之を貫徹すべき也
▲當局　者も既に其必要は認め居れど唯夫れ財政の都合にて優柔不斷決せざるのみ也
▲有志　の演說者振へりと雖も就中加來氏の所說は頗る剴切遺憾なく所信を吐露せり
▲加來　氏の所謂五十四郡の一家中處存の辭を堅むるは將さに此時にあり比喩絕妙也
▲港民　一致團結以て當局者に迫れよ韓國の爲にも外債を起し之を決行するが利益也
▲統監　府にも韓國側に居る日人官吏にも眞に韓國の事情及人物を知悉する者少し矣
▲故に　韓人官吏を任命するに適材を適所に用ること少き傾きあり大に戒飭すべき也
▲現在　韓人官吏を見るに何れも概して其位置に適材ならず大に差繰るべき必要あり
▲韓人　を採用するの要あらば矢張り適材を拔擢せざる可らず當局の意向果して如何
▲大臣　も亦然り裝飾ならば人撰の必要なきも苟も責任を負はすに於ては選良を要す
▲公平　なる眼孔を以て大臣より以下の韓國官吏を點見せよ果して適任なりとするや
▲多少　の缺點は恕するとするも余に不適任者を置くは決して事績を擧る所以に非ず
▲片々　子は一々不適任者の姓名を擧るに忍びずけれども公平の眼あらば甚だ明瞭也
▲畢竟　之れ當局者が韓人の人物を知らざるに基因す故に適方もなき人物を擧ぐる也
▲漢城　市街の水撒は是非共實行せざる可らずとは片々の勸告する所更に再び勸告す
▲戶々　に吩咐して撒水せしむれば臭氣紛々たる汚水を撒く却て行人の迷惑となる也
▲士都　君府は亦もや騷擾を極む進步派の人多く兵士の爲に虐殺は虐殺に遭へりと
▲土帝　二百萬圓を軍隊に與へて反亂を起さしめたりとの說なるが果して事實なりや
▲要之　守舊派の勝利を意味し上帝の勝利を意味す東歐は何故に斯くも禍亂多きや
▲日糖　事件に就て司法官の意氣軒昂勉迄司直の務を果さんと果して然ば甚だ賴母し
▲大事　件起る每に司法權が行政官の爲に壓抑せらる弊害今回は此事なくんば幸甚

●小學校生徒と殖林　釜山民團にては小學生徒に愛林の思想を養成せん爲め民團立各學校生徒に對し殖林をなさしむるべく二笞なる是に由り移植したる生徒は常に自分の植へたる樹木を愛撫して成育を樂み從つて殖林の實を擧ぐるに至るべし

之れを勸獎しつゝありしが過日同觀察使が群山勸業模範場に依賴して新に買入れたる楊樹四千株全州へ

したりし駐韓軍隊中滿期兵輸送は二十一日第十三聯隊の釜山通過を以て全部輸送を結

學生徒に愛林の思想を養成せん爲め民團立各學校生徒に對し殖林をなさしむるべく二十二日より許行せしが場所は當分牧の島西部に於て教師生徒を引率して植へしむるの植へたる樹木を愛撫して成育を樂み從つて殖林の實を擧ぐるに至るべし

●全州の揚樹栽植　全州觀察使は曾て殖林に意を用ひ全州府内の兩班連中にも群山勸業模範場に依賴して新に買入れたる揚樹四千株全州に着したるを以て同觀察使は直らに東門外の畑地に栽殖せしと

●軍隊輸送全部結了　本月初旬より開始第十三聯隊の釜山通過を以て全部輸送を結了せりと云ふ

寶の灰（二）　菜生記

（第一銀行券の燒却）

雨は未だ降つてるらしいが、更けた夜は寂として居る。

私はそつと新聞包を開けて、件の代物を机の上に擴げた。灰色の餡みたいな見すぼらしい山形の塊に甃たる無數の筋が薄白く見えて居るのは、幾百枚とも知れぬ銀行券を重ねて燒いた名殘であらう、あはれ、その一枚〳〵には人間の怨恨が籠つて居るのだと思へば、悚然として躰が震へる。そして晝の間に社長から聽いた燒却場の光景がアリ〳〵と眼前に浮かんで來る、

見よ、薄暗い倉庫のドアーは開かれたのだ、十四五名の妙齡の美人は束髪に黒衣の揃ひの姿で、五圓と十圓と一圓とを撰り分けて居る、そして撰り分けられた券には各々二ケ所宛の穴があけられて、百圓宛の小束となる、かくて係員さんが封印を押すとやがて燒却場に運ばれて統監府の役人や一銀の正副支配人檢視の下に、三十万圓乃至四十万圓程の銀行券の大束が竈の中に投げ込まるゝのだ、竈は煉瓦製の竹山式とやら、恰かも火葬場の燒竈に似て居る、あれ〳〵マッチを摺つたよ、火が燃える〳〵、あー臭い……今こそ幾千萬人の手垢が竈の中で燃えてゐるのだ、見よ〳〵渦を卷いて烟が上る、上る烟は人の怨恨ぞ、あゝ厭やだ。

あゝ厭だ。厭な夢を見た。何時だらう。手を延べてマッチを探ぐると、枕頭の代物がガサリと觸れる、寢るときに置いて寢たのだ、呀と思ふて手を引込ますと、もうマッチを探ぐる元氣も失せた、床の中で瞑つたまゝ、先刻の夢を考へて見る、何でも部屋は此室であつた、例の代物を眺めて居ると、ふつと後に人の氣がする、吃驚して振り返へると、思ひ掛けないにも程のある、あのデップリと肥つた澁澤さんが莞爾して佇つてゐるではないか……

●花柳巷談　似合の花較べ（十）　伊豫之守

▲梅の助に權太　是れは唐土樂館山の籠にはわらねど京城は中檢より毎晩出で〳〵酒を酌むものに候と皆迄言はずと知れた揃ひも揃ひし猩々藝妓に候●梅君に就ては粋先刻御承知の笹なるが生粋の江戸兒にして諸國を流浪した揚句仁川に來り淺間樓を根城として大に奮鬪せしも所謂宵越しの金は使はないと云ふ氣質ゆへ借金は積もつて山を爲し遂に昨冬清華亭に住み替へしも相變らず能く飲んで能く饒舌り能く惚れて能く使つて能く借金を爲し居れるが此妓の取り廻しは客席に於ける勸めの宜きと客扱ひの公平なると其れと人の良き處に候其上藝も相當に出來る由、梅チヤン近頃れ安くない好い人が出來たとね……●●●井門の權太君是れも江戸兒にして大阪に下つて義太を勵み大に技藝も進歩し當地に來りし當時は堂摺連を唸らしめて流行妓の數に入りしも其れはホンの束の間何れの席でもグデ〳〵に醉ひ、醉へは泣く、惚れる、●●出すと云ふ醜体を演ずるので時々れ客から小言を喰ひ人氣も落ちし樣子なるが根が江戸兒の羅張りした氣質ゆへ多く咎むるものもなく却つて愛嬌として持てはやさるゝ向きもありとかに候兎に角此兩妓は京城中での變りもので頗るやん茶者の樣で其實極々の人善し色氣の無い妓で能く人に惚れる誠に憎氣の無い妓達に候……次は翡翠の三副對やん茶に笑太郎に秀子の三樹……

●合せ鏡（三）　魚遊痴史

（伊豫之守殿の花較を見て）

▲鄙子どれ茶羅
温順しづ子で如才が無て
ソシテ可愛いアノ眼付
人の目に付れ茶羅の色香
醜るゝ愛嬌の花の容貌

▲れゑんと三太
心機一轉したのは嬉れし
過去の浮氣は止れゑん
常も江戸式勇さんだ調子
懸引や厭ひの負ぬ氣よ

●亂暴なる車夫　一昨日午後六時頃仁川仲町二丁目別府組方にて當時仁川花町一丁目入浪貢吉方の挽子北與三松と云へるが同組輓子數名に毆打せられて大騷ぎを演じ居るを仁川本署に急報したる者あるより同署詰合巡査は時を移さず現場に出張し事情を取調べたる所被害者與三松は豫ねて別府組輓子宮崎某と云へるに金六圓の貸金ありしより同日此れが請求の爲同組に至りたるものなるが此れより先き與三松の長子（十一）が此れも餅行商の爲め同組に至りしに同じく同組輓子菅原直造と云へるが其餅を鱈腹食つた上勘定をなさゞりし爲め同人は泣く〳〵其場を立ち去りたる後なりしことゝて同組の輓子等は必定與三松が子供の復讎として出向きたるものと早合點しスコップを以て與三松の眉間を打ち割り負傷せしめたる事と判明したれば直に關係者一同を引致し目下取調中也とか

●本町の毆打騷ぎ　當地本町一丁目理髪業渡部徳平方職人小野大吉（二三）と云へるは昨日午前零時三十分頃同町一丁目同職田邊榮太郎方に至り僅かな事より口論を初め遂に榮太郎の前額左眉上部に打傷を負はしめたる騷ぎに警官出張の上大吉は南部署に拘引せらる

●猛虎人を咬む　忠淸南道連山郡代谷面及陽良處面山中に此程來一頭の猛虎現はれ屢々人屋を荒しつゝあるが既に延山郡北面に於ては三名の被害者を出したる由にて目下虎狩りの準備中なりと

●口ハ飲の拘留　仁川本町三丁目酒店廣川房二郎方に大坂生れの若林虎吉なるもの來り一合飲酒したる上勘定をなさず尚其の上ビール瓶を出して之れに酒を入れと強請するより警官の出張を仰ぎたる所警官に對しても言語同斷の振舞に及びたれば直に仁川署に引致し目下拘留中なりと

●節句の敷島遊廓　一昨日は節句なりし爲め各樓共早朝より白酒の饗應ありて頗る景氣よく夜に入りて漂客入り込むもの亦平日より多く各樓通じて八十名の登樓者ありて其の揚金は三百餘圓なりしと

●自轉車乘のれ灸　當地明治町一丁目貿屋森村太郎（三四）は一昨日午後二時頃呼鈴を付せざる自轉車に乘り南大門通り二丁目を通行中警官に認められ昨日南部署にて五十錢の科料に處せらる

●南山の松を探る　當地本町八丁目料理業谷川滿（四〇）は一昨日午後四時頃南山にて松樹十六株を根付の儘採取し之を擔軍に負はせて自宅に持歸る途中を警官に察知され其儘沒收さる

●迷兒　昨日午前三歳位にしてチルの前掛を着したる男兒黄金町にて歸路を忘れ迷ひ居たるを銅峴分署に連れ歸りて保護中也

●新町たより　一昨日は桃節句の事とて各樓晝夜共非常に客足多く、其總數百五十九名、費消高九百六圓七十四錢にして此内最も多きは皆春樓の二十二名百四十五圓六十五錢最も少なきは松榮樓の五名と二十六圓十錢なりし▲第一樓本店の二葉拍子の此程本紙上に目下釜山に興行中なる三輪一座の日東勸兵衛と僅かに一夜の契りに双方共手傷を負ひ爲めに二葉は入院の浮目を見たりと記載せし爲め二打に近き馴染客より見舞品山の如く集りしが實際は入院せしに非ず至極無事で毎晩客闘を續け居たる者なりしかば彼れは大に嬉び新聞は鬼角自分等を害する者なるに是れは又飛んだ福の神に取付かれたるものなるかな今年や愈々カボチヤの齢り年だと獨りホク〳〵▲新町には近頃藝専門の婆藝妓が出來て需めに依つて客房に侍り藝の切賣を爲し居れるが彼等の多くが仲居よりも劣り服裝にて頗る不体裁なるまゝ平氣で客前へ出しやばるは實に厭氣を催す顔の醜さは仕方なけれども服裝位は樓主に於て注意せし方可ならん（鄙雀）

▲廂髪漸く廢る▼

一時の大流行をした廂髪は餘り見つともよくないものとて御當人さへ内々呟きしがそれが漸く廢りかけしは恰も昨年の今ごろにて近時の貴婦人界には殆んで廂の跡を絶ちて舊來の日本風に復したるものゝ如し右に就き某貴婦人の話なるものを聞くに『日本髪は東髪より極めて眞面目なものにて或る場合に於て廂は大いに浮薄を意味し日本髪は眞摯を意味するの中にも特に所夫を有てる婦人が東髪のグラシなき姿をなすは聽て犯罪を敢てせしむる導きともなる可きものなれば輕佻浮薄の意を含める結髪の全く廢りて眞摯率直の日本髪に復せるは洵に慶ぶ可き現象なる可し云々』而して昨今の婦人會に於ける貴婦人の髪は其の九分通りまで日本髪となり隨つて家庭に於ける所謂腰元の如きも客の面前ではなるべく日本髪を結はしめ年嵩なるものは何れも丸髷に結はしむること大いに流行し始めたりと

演藝界

▲歌舞伎座　田宮貞雄一座今日の替りは「腕と腕」にして配役は左の如し　番頭吉造（松村）鬼目の重太（小柳）書生原田太一郎（大山）らを屋源兵衛（高山）中村れしづ（篠原）森口賢三（阿部）俳優中村愛之助（篠田）中村正道（中村）女七之助（小堀）中村新哉（田宮）

▲永樂亭　岡本美根松一座源氏節今日の語物左の如し　石川五右衛門内の段（美根子）八百屋お七吉祥院の段（美根鶴）石どう丸玉屋の段（美根鈴）落語茶番（文三）大岡政談初日の續き（美根松）新内（若花）山古故錦尾上部屋の段（美根由）

平民文庫

▲私が病氣の爲め暫らく本欄に御無沙汰をして居た間に各所の淫魔窟に對する投書頻々ありて直接又は間接に彼等に打撃を與へたるは痛快に堪へず尚は續々痛風の矢を放たれん事を希望す（太平洞人）▲なる程西小門通りの古川床へ今度來た職人は叮嚀で仕事が上手で却々お世辭が好いアレならば大ひに褒めて遣はす（煙酌玉）▲十九日の未明アノ雨の降る中を太平町の菊水から腰をぶらつかせて出て行た奴は長谷川町で紅葉床の嬶から出つて明治町に出で佛蘭西教會の坂の邊で消へ失せた逆つて出た女は梅子の寢ぼけ顔だつた（牛乳配達）▲ヨボ巡査が日人巡査に對して敬禮を行はぬのを局外者から見ると實に腹が立つ（商人）▲大韓のハガキダヨリ鮮日の日々くらぶ當紙の平民文庫等各々夫れ〳〵の特色があるから面白い讀者の異なるに隨つて投書家も違うと見へ旗色が確かに別々に鮮明されて居る樣な觀がある（投書好き）

●暴風警報　風強かるべし低氣壓は渤海山東省に在りて七百五十六ミリメートルを示し東に向つて進まんとす韓國北部及中部を警戒す（仁川觀測所發）

●天氣豫報（自廿三日午後六時至廿四日午後六時）　南の風　晴

廿二日　最高溫度（華氏）六一、二　最低溫度　四一、七

特許新案 徳用燃料
無烟煉炭
●特色 火付善く火力耐久價格低廉
●用途 家庭、鍛冶、暖爐、竈用に適す
● 周防徳山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
（京城特約店）京城南大門通 電話六〇三番
巴商會 韓國一手販賣
京城太平町二丁目
神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯 希望 當初給料望まず 氏名在社（二二一）

一年齡二十歲身体强壯高等小學校卒業家內の少き內に於て餘暇簿記教授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ（二二三）

被雇 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社（二二二）

胃腸患者を求む年廿三身体頗强壯軍隊出射擊術に通ず報酬を不望（衣食に差支へなき限り） 氏名在社（二二四）

年廿才玉突ボーイに雇はれたし持點數百二十以上龍山大島町新玉軒にて津田（二二七）

看護婦募集す志望の方は至急申込あれ 明治町惠愛看護婦會

看護婦三名入用 南山町二 松岡醫院

給仕に雇はれたし 氏名在社（二二八）

物件部

賣家 大和町三土地百餘坪の建物あり官吏向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社內 矢島

貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附（又は隨附にても）にて二間貸したし 氏名在社（二二五）

雉子雄日本產尾中斷し從來使用中の者盜難にかゝれり心當り御報の者へは謝禮 龍山練習官舍八十八號前 丸山（二三一）

廣告

電話開通一一一一番

青々園
風味佳味 實質の三者を兼備す 正銘宇治茶京都の茶器 故に尤も進物用に適當なり

茶及茶器商 京城本町四丁目 **青々園茶舖**

九州セメント
今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候
京城南山町一丁目電話三四四番 **山村商店**
龍山元町二丁目電話三二二番 **林藥店**

▲**清潔の下宿**▼
客室の淸潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十一番戸横小路（元花屋跡）
▲**懇切の下宿**▼ **かめ屋**

電話開通 **千百五十二番**
和洋紙文房具 諸帳簿諸印刷
京城本町一丁目 **北內商店**

石炭直輸入卸小賣
●●精撰塊炭 ●●上等塊炭（海軍御用炭）
●●荒塊炭 ●●切込炭（鐵道御用炭）
弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口福母炭坑賣炭部
合名會社 範多商會韓國代理店 韓國京城南大門西側（電話長八一九番） 合資會社 **長醫商會韓國出張所**
大阪鐵工所韓國代理店 仁川濱町一丁目（電話長八三三番） 合資會社 **長醫商會仁川出張所**

電話開通 **千百二十七番**
廿錢均一にして毎夜無休 夕方より興を求むるには京城座に限る見るは道樂試に御覽なさい
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
京城座

電話開通九百十九番
キッド深ゴム 八圓
ボックス深ゴム 七圓五十錢
一枚皮裁一枚皮
半ボックス深ゴム 五圓五十錢
地方より御注文は御一報次第代金引替にて郵送致し若し御足に合さる節は何時にても御取替申すべく候
京城本町一丁目 電話九百十九番 **富田製靴本店**
同 本町六丁目 **同第一支店**
同 南大門外 **同第二支店**

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗、
G.D.印トルコ金口煙草（百本入 十本入）
外各種 百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表に御申越次第御送附可申上候
仁川本町一丁目
直輸入元 **トルコ煙草商會** 電話（七一五番）

電話九百〇一番 內科 婦人科 外科 **富久尾病院** 京城旭町二丁目
電話九百〇二番

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材 京城旭町三丁目
建築業 **柴田芝六** 電話五六八番

京城南大門通三丁目 起業會社筋向
高等待合 紅葉
設備の不行屆と客室の淸酒ならざるは場所の適當なると御愛嬌とを以て償ひ得て餘りありと存候

裁縫專門 和洋料理 **教授**
明治町二丁目百三十一番戸 **野村サワ子**
熟則御望の方には郵券二錢被下候得者直に御送付可仕候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓 積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通 株式會社 **十八銀行**京城支店（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
韓國、日本、淸國營口、安東縣、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
十八銀行京城支店 **長崎貯蓄銀行代理店**

肴四品（但一品）**ビール一本 金一圓**
頗るハイカラの酌婦付
明治町二丁目 富士材木店横入
敷島

◎**開業**◎
會席御料理 德利附一人前金五十錢
今般左記へ開業仕至極輕便御手輕に致します何卒御引立の程を
京城壽町三丁目（中島病院前）
水津

諸傘並に提灯類印入 和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

大上商店
製自賣販約特
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
和洋酒、回精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、壜辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候
（電話二五一番）

龍山 萬長旅館
東山の手御所町
電話四〇〇番

春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれば皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御贔負の程祈り候

すし、うなぎ
御料理、山遊折詰
明治町一丁目
松善

貨物運送取扱 危險擔保附運送 稅關貨物取扱 代金付貨物運送 貨物引換證發行
內國通運株式會社
京城南大門驛前 **京城支店** 電話七〇八番
仁川驛前 **仁川出張所** 電話五一一番
草梁驛前 **釜山出張所** 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話五三七番
龍山驛構內 **龍山派出所** 電話二〇六番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達
委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

神田組
銘茶 寫眞 [illegible]

◎氣候變化＝牛乳
◎牛乳＝純良＝消毒
韓國畜產株式會社 南大門外（電話八八番）

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇部宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、[illegible]、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、
山陽道 姫路、西大寺、笠岡、高梁、[illegible]、尾の道、三原、[illegible]、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、[illegible]、小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、[illegible]
南海道 [illegible]、田邊、新宮、和歌山、[illegible]、撫養、高知、徳島、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山、
銀行一般の業務精々便利取扱申可候

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 **郡回漕店** 電話三九番

●大連、太沽、牛莊行 [illegible]丸 四月 日正午出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 四月二十七日前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月 十三日正午出
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 四月二十八日
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月 九日午後三時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎可申候送迎船八本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞定價 [illegible]
●廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
京城西部西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三